

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 7月24日

【評価実施概要】

事業所番号	2070300450		
法人名	社会福祉法人敬老園		
事業所名	グループホームうえだはら敬老園		
所在地	長野県上田市上田原1068番地 (電話) 0268-27-1165		
評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	平成19年7月24日	評価確定日	平成19年8月31日

【情報提供票より】(平成19年 7月11日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	6 人	常勤 6人, 非常勤 0, 常勤換算	6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2 階建ての ~ 2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	55,000 円	その他の経費(月額)	29,000 円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 500 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり		1,200 円

(4) 利用者の概要( 月 日現在 )

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	0	要介護2	1
要介護3	5	要介護4	3
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 91 歳	最低 77 歳	最高 99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	・うえだはらライフクリニック・千曲病院・日新堂医院・佐藤医院・あさじ整形外科・飯島医院・五野医院・小諸厚生病院
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

近くには上田創造館があり、緑豊かな公園の傍にホームがある。ホームを運営する法人は9市町村で事業を展開しており、施設数193ヶ所、職員数750名に及ぶ。職員の研修に関しては特に力を入れており、専門分野の職員が講義したり、講師を招くなどしてサービスや職員の資質の向上に努めている。ホームは併設施設の協力を得ることができ、入浴が困難な場合は同じ建物の一階のデイサービスで入浴したり、隣接しているクリニックでは24時間相談することもできる。地域への外出を積極的に取り入れたり、近くの幼稚園児との交流や地区の行事への参加など、地元の住民との交流も積極的に行っている。平均年齢は90歳を越えているが生き生きと自分のペースで生活をしている姿を見ると、ここはグループホームではなく、普通の家庭での暮らしそのものではないかとさえ感じられる。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価の結果を会議で検討し改善できるものは改善した。自己評価で見出された課題も予算の伴う事についてはすぐには改善出来ないが、全職員で検討し、改善にむけて前向きに取り組んでいる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は全員で行い、見直しも行なわれている。サービスの質の向上に評価を積極的に活用していこうという取組み姿勢が窺えた。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議では、ホームからの資料に基づき意見交換が行なわれている。重度化やターミナルに向けた話し合いも行い、家族や地域の不安などに答えている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族は来所時に職員から生活の様子等の報告を受けており、グループホーム便りからも状況や予定などを知ることができる。要望や家族の思いを受けとめ、職員も要望等に沿うよう支援している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	買い物や散歩に出掛けたり、趣味のダンスや生け花に参加したりと外出を楽しんでいる。併設のデイサービスのアクティビティ活動にも参加することもあり、地域の人や通所して来る友人とも交流している。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの提供に向けて全職員で話し合い理解を深めた。法人の理念に加え、グループホーム独自の理念を全職員で作りに上げた。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝、申送り時には理念を唱和している。6月から新しい理念に変わっていることもあり会議はもちろん、それ以外でも折に触れ理念について確認し合っている。		
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	二階がグループホーム、一階はデイサービスとなっているので、デイサービスの利用者と生花や趣味活動をしたり、近くの幼稚園児との交流や地区の行事への参加など地元の住民との交流を積極的に行っている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	経営者や管理者、職員はサービス評価の意義・目的を十二分に理解している。自己評価は全職員で行い、サービスの質の向上に努めている。		

グループホームうえだはら敬老園

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は二ヶ月に一回の割合で開催されている。会議ではホーム側から利用者の生活の様子や行事予定等の報告、委員からは幼稚園との交流などが提案されている。入居者の様子を理解していただくために、入居者参加の運営推進会議を開いたり、ターミナルについて話し合うなど会議への取り組みが優れている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	入居の相談、困難事例の相談等受けている。居宅事業所とも連携している。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族の来所時には生活の様子や健康状態を伝えている。またホーム便りでも日常の様子をきめ細やかに家族に伝えている。金銭出納帳には領収書、明細書等も添付されており、家族の確認印もされていた。きちんと管理されている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族から意見や要望が出やすいようにご意見箱を設置したり、来所時には日頃の様子を報告する中で意見等を聞くように努めている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動に関しては入居者の気持ちに配慮している。退職する場合は職員本人から入居者に別れの挨拶をしている。職員の勤務期間は比較的長く、入居者との馴染みの関係作りがされている。		

グループホームうえだはら敬老園

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人で研修を企画し、職員の経験や習熟度にあわせて段階的に研修が行われている。外部研修にも参加しており職員を育てる仕組みが出来ている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者とのネットワーク作りや学習会に参加するなどしてサービスの質の向上に取り組んでいる。		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して入居できるように体験利用（日帰り、宿泊）などケースバイケースで対応している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者の生活リズムに合わせたゆったりとした時間が流れている。昔の習慣や作法、料理や味付け等、入居者から日々の生活の中で教えてもらうことが多い。		

グループホームうえだはら敬老園

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>過ぎて</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の関わりの中から一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。表出が難しい入居者に関してはしぐさや表情から真意をくみとって確認している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者一人ひとりに担当職員がいる。月一回の会議の中で担当者毎に意見を出し合い、ケアマネージャーが入居者毎に介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	家族の来所時や電話等で経過を説明している。体調などに変化があれば随時見直しを行い、現状に即した新たな介護計画が作成されている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ダンス教室に通っている入居者の付き添いや通院・美容院に関しても家族に代わって付き添うなど、入居者や家族の状況に応じて支援をしている。職員の手が必要な時は隣接する施設の協力を得て入居者の満足度を高めている。		

グループホームうえだはら敬老園

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医で受診している。通院や受診は要望があれば職員が家族に代わって付き添っている。24時間相談可能な医療機関があり、必要に応じて往診の支援もある。	○	ターミナルを見据えると、馴染みのかかりつけ医の協力が必要になってくるので、更に連携を深めていって欲しい。
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	法人が開いた終末に関する研修に職員は参加している。また訪問看護師からターミナルの講義を受けたりマニュアルの読み合わせをするなど重度化や終末期に向けた対応が出来るように前向きに取り組んでいる。運営推進会議でも議題にターミナルをあげ、家族らと話し合ったことも。	○	終末に関しては入居者本人や家族にとって大きな関心であり不安でもある。家族らの意向を確認しながら方針の共有化を図って欲しい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護法の理解は成されている。また、プライバシーの保護については会議の際に確認しあっている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日のプログラムはあるが、一人ひとりその時の本人の気持ちに従い活動している。ゆったりと時間を過ごし、入居者も穏やかに暮らしている。		

グループホームうえだはら敬老園

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理・盛り付け・片付け等を入居者と共に行っている。訪問調査当日昼食を共にしたが、肉が柔らかく入居者には食べやすく工夫されていた。食事の時間はゆっくりと1時間半かけているので、食べ方が遅い入居者でも最後まで自分のペースで食事ができている。食べ終わった入居者は職員と談笑しその笑い声は楽しそうであった。献立は法人の栄養士が立てたものを参考にしている。複合施設のメリットを感じた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりがゆっくり自分のペースで入浴出来るように支援している。入浴を望まない入居者には無理強いせず気分よく入浴できるように心がけている。		
(3) 生活の質を向上させるための支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者一人ひとりの力が発揮できる場面作りや楽しみが見出せるように個別に把握されている。調理、食器洗いや食器拭き、配膳、洗濯物たたみなど各々に仕事(私の仕事)があり生きがいとなっている。入居者が仕事を終えると職員は労いの声かけをしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりの体調に合わせて買い物に出かけたり月に一回は家族を含めて外出している。隣接の施設職員の協力もあり外出しやすい環境である。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○今後も鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は一人ひとり所在確認を行うことで鍵をかけないケアを行なっている。		

グループホームうえだはら敬老園

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回避難訓練を実施しており避難場所や避難方法を熟知している。スプリンクラーも設置されており、火災対策は十分に練られている。	○	地域の協力体制については運営推進会議等で協力をお願いをして欲しい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の献立を参考にしている。一日の水分量は1,000ccをめどにしているが計測はしていない。お茶の時間と食事の後等で充分足りていると推測している。		
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームは住宅地の中にあり環境が良い。共有の空間は居室のほぼ中央にあり機能的に作られている。東西南北に窓があり採光は良い。広いテラスには花や野菜が植えられており、避難場所にもなっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	広めの居室には仏壇があったり家族の写真が飾られたりして生活感が感じられた。入居者が自慢げに自室を紹介してくれたのが印象的であった。		

※  は、重点項目。